

人権侵害に関する概要（令和4年度）

1 人権侵害事案の状況等

① 相談件数

	アカハラ関係	セクハラ関係	パワハラ関係	その他	計
相談件数		1		2	3

② 苦情申立て及び調停申立て件数並びに措置件数（調査及び調停の実施状況）

	アカハラ関係	セクハラ関係	パワハラ関係	その他	計
苦情申立件数		1			1
調停申立件数					
役職者等対応件数				1	1
措置件数		1		1	2

2 人権委員会の開催状況

令和4年度 計2回開催

3 人権に関する研修状況

・令和4年度大阪教育大学ガイダンス

日 時 令和4年5月27日（金）～令和4年6月6日（月）

テ ー マ 「本学にとっての人権と人権教育」

講 師 森 実（名誉教授）

- * 新たに採用された大学教員・事務系職員及び特命職員に対して、本学の人権教育の特徴を本学の人権侵害対応システムや人権関連授業・行事等に基づいて説明した。e-learning システムでの実施。

テ ー マ 「本学のダイバーシティ推進」

講 師 永井 由美子（学長補佐）

- * 新たに採用された大学教員・事務系職員及び特命職員に対して、本学のダイバーシティ推進に向けての取り組み内容等の説明を行った。e-learning システムでの実施。

・令和4年度ダイバーシティ推進セミナー

日 時 令和4年6月29日（水）

テ ー マ 「グローバルな視点から見たダイバーシティ」

講 師 ウスビ・サコ氏（京都精華大学教授）

- * 学長としてダイバーシティ推進に尽力されたご経験をもとにグローバルな視点から大学でのダイバーシティ推進の取り組み事例などについて語られた。

・令和4年度ハラスメント研修

日 時 令和4年8月31日（水）

講 師 株式会社ビーコンラーニングサービス

- * 管理職・事務系職員・大学教員に対して、ハラスメントについての理解を深めるとともに、予防や対処について学ぶことで、一人ひとりが安心して働ける職場・組織づくりについて考える機会を得ることを目的とした。オンラインでの実施。

・第45回人権教育全学シンポジウム

日 時 令和4年12月7日（水）

テ ー マ 「大学における障がい学生支援のあり方、アクセシビリティについて」

講 師 山森 一希氏（本学卒業生、筑波大学大学院博士後期課程）

- * 毎年12月の人権週間中に開催。教職員に対してはSD・FD事業として位置づけられている。大学構成員が課題を共有し、人権に対する正しい認識を深める機会として実施。山森一希氏の講演「ともに学び、ともに育んだその先に」の後、パネルディスカッションが行われた。オンラインでの実施。

大阪教育大学人権委員会